

看護キャリア開発センターは今年度も県内の看護師や保健看護学部の学生等、看護のキャリアを歩む方へのキャリア支援をおこなっていきます。
それでは4月5月の活動についてお知らせいたします。

特定行為研修開講式

4月15日(金)「急性期医療コース」1期生と「地域医療コース」7期生(計21名)合同で開講式をおこないました



7期生は過去最多の14名!
徐々に特定行為研修の認知が広がっているね

受講生代表として附属病院
波元副看護部長に宣誓して
いただきました!



開講式終了後、->>>
合同で自己紹介タイム♪

地域医療コースは附属病院の尾崎志帆さんや
紀北分院の佐藤紗規子さんが受講されています♡



受講生宣誓



第6期生 区分別研修のスクーリングが始まりました

4月から順次区分別研修を開始しています!受講生は6月以降各自の働く施設や、実習協力施設で実習を開始します。

4月: 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

「脱水症状に対する輸液による補正」

「高カロリー輸液の投与量の調整」



救急・集中治療部 加藤教授による講義



相互評価の様子



状態をアセスメントし、必要カロリー
などを考え、TPNのメニュー検討中

5月: 創傷管理関連、呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連

「壊死組織の除去」

「創傷に対する陰圧閉鎖療法」

「気管カニューレの交換」OSCEの様子



豚バラ肉を着色して壊死組織
に見立て、メスや剪刀を用いて
デブリの練習



企業ハンズオンで NPWT の手技を
学び、褥瘡ケアシミュレーターで練習



この区分のみ遠隔でも評価していたため、ZOOMで共有

フォローアップ研修

区分別研修のスクーリングは、内容によって「フォローアップ研修」として修了者にも案内しています。今年度は「壊死組織の除去」と「気管カニューレの交換」の講義・演習に修了者のご参加がありました。受講生にとっては、修了者の活動の実際を聴ける貴重な機会となりました。

「気管カニューレの交換」区分修了者に手技のデモン
ストレーションを見せていただきました。この方は実践
でのべ400件の経験を積まれているそうです。



院内看護師向け
急性期医療コースを開講しました

昨年度3月に「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業」として、和歌山県から研修事業を受託することになりました。このため、新たに附属病院看護師を対象とした「急性期医療コース」を開講しました。このコースは全員が「中心静脈カテーテルの抜去」「直接穿刺法による採血」「橈骨動脈ラインの確保」の3行為を修得できるコースになっています。履修期間は1年で、従来当センターで実施している特定行為研修より短くなっています。7名の受講生はe-ラーニングによる学習を開始しており、9月にはスクーリングに参加します。



第7期生 共通科目研修が始まりました

「急性期医療コース」の開講に伴い、従来のコースを「地域医療コース」としました。こちらの共通科目研修は、まず放送大学に入学し、1年間履修して単位認定を受けます。来年1月には本学でのスクーリングが始まり、4月から区分別研修が始まります。

看護キャリア開発センターの今年度の主な活動予定

- 特定行為研修の運営
6月: 地域医療コース6期生のスクーリング(残り3区分)
9月: 急性期医療コース1期生の共通科目スクーリング
10月: オンラインオープンキャンパス
11月: 急性期医療コース1期生の区分別科目のスクーリング
11月5日: 今年もオンラインで「特定行為研修指導者講習会」を開催
1月: 地域医療コース7期生の共通科目スクーリング

○看護師のキャリアアップ支援
昨年度コロナの影響で延期していた第4回キャリア支援座談会を、下記日程で開催予定です。

8月5日: 「第4回キャリア支援座談会」
※対象: 附属病院、紀北分院の看護師および保健看護学部学生

○看護学生のキャリア支援
今年度は、学生へのキャリア支援事業として、附属病院での「ジョブシャドウイング」を企画しました。実施場所は病棟です。ご協力をお願いいたします。
1月2日: 「ジョブシャドウイング」 ※対象: 保健看護学部3年生

学生が実際の臨床現場で働く看護師と同行し、看護師がどのような仕事をしているかを観察して学び取り組みです。看護師としての働くイメージの形成や、キャリアを考えるきっかけとなります。また、就職前の心の準備や臨床現場への適応促進にもつながるとされています。